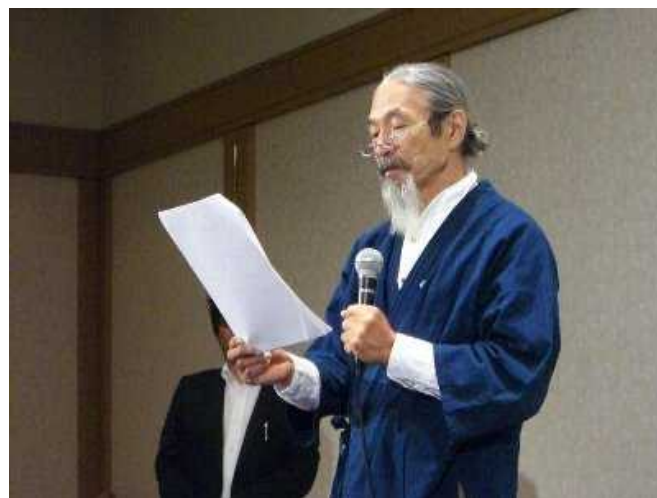


ウッディチキン / 東京総会

『 例会レポート 28 』

日 程	:	2007年10月10日(水)
会 場	:	品川プリンスホテル 32階<函館> 〒108-8611 東京都港区高輪4-40-30 TEL03-3440-1111
参加者数	:	講習会 = 240名
講演会内容	:	PM6:00~8:40 ・パネルディスカッション ・北川八郎先生講演
親睦会	:	PM8:50~10:00 出席者数240名



レポート作成



ウッディチキン総事務局
谷口 隆



<http://woodychicken.com> info@woodychicken.com



< 開会挨拶 >

TCスペース大島氏より

- ・今回は、まず伊藤代表にウッディチキンの近況と今後の方向について説明して頂きます。
- ・続いてパネルディスカッション、最後は北川八郎先生の講演を予定しています。
- ・パネルディスカッションでは、北川先生の教えをどのようにサロンに活かしておられるのかを話しあっていただきます。コーディネーターはラッセルの大野勝次さんです。
- ・ではよろしくお願ひします。

< 伊藤代表より近況説明 >

1. これからのビジョン

- ・本日の実行委員会で伝えた内容です。(この内容については、事務局の判断で全文掲載します。)
- ・日本の中での美容業界は今大きく変わろうとしています。ちょっと予測をしてみました。これからは、さらにリクルートが大変になります。美容免許を持っている主婦の再雇用が活発になります。社会保険に入っていない美容室は社会的地位をなくしていきます。美容室用薬剤だけでなく、美容室の店販商品も価格破壊がもっと起こります。美容室の店販商品をターゲットにした商品が次々に発売され化粧品コーナー、ドラッグストア、ディスカウントショップに並びます。流通業者はメーカーの販売代理店ではなくサロンサポート業務がメイン業務でなければ生き残れなくなります。美容室のネットワーク化が進み、そのネットワークも色々な機能を持ったものが登場します。「小さなサロン」での独立が増えます。思想、価値観などの「自分磨き」の勉強会が盛んになります。信用が最も大きな価値になります。健康に関する分野が拡大します。美容室が環境や社会問題に関する一つの発信場所になります。世界が長寿国日本を目指し、経営も日本型経営をモデルにします。部分、部分より大局観、全体を観る人が必要になります。「美容と心の関係の研究」がされるようになります。業種を越えたプロジェクトが活発に発生します。

[そして我々が目指すべきこと、取り組むべきことは]

親密性の高いネットワークの構築
 心の成長も含めた人間的レベルアップ
 社会保険加入など労務改善できる経営モデルの完成
 美容での新事業の模索
 世界一と言える日本型経営の発信



- ・時代の遷り変わる時期は混沌とした状態が続きます。混沌とした状態とは、夜明け前の、あの夜でもなく、朝でもないような状態のことをいいます。
- ・今、我々が経験していることは、世界の何処もが経験していないことです。
- ・国民は高齢化が問題になるくらいの長寿国、長生きの国です。そしてGDP(国内総生産)は世界第二位の豊かな国なんです。どうです?世界の人たちが日本に住みたいなり、日本のようになりたい、と思うはずでしょう。
- ・その我々は、まだその豊かさの恩恵に気づいていません。戦後これまでの60年間は物が無い時代でした。ハングリー(空腹感)がモチベーションの原動力でした。お腹一杯ご飯が食べたい、人並みの生活がしたい。貧乏から抜け出したい。という一念で頑張ってきたのです。今の時代にそんなこと(ハングリー精神)を求めるのは無理かもしれませんね。
- ・これからの時代は、今この与えられた恩恵を大切に、そのことに対しての「感謝」を原動力にしないといけない時

代のように感じます。21世紀「心の時代」とはそんな時代ではないでしょうか。

- ・これから世界が日本を羨ましく思い日本のようになりたいと目指すでしょう。
- ・日本は世界から見本にされる国になったのです。皆さん日本人としての誇りと責任を果たさなくてはなりませんね。

2. 読書普及協会とのコラボレーション

- ・清水克衛さんは、あの斉藤一人さんが買いに来るとい「読書のすすめ」という本屋さんの店主で、「NPO法人/読書普及協会」の理事長です。その清水さんと接点が出来ました。
- ・ウッディチキンは本から学ぶことを推奨しているので、今後いろいろとコラボレーションをして行きたいと思っています。

3. ウッディチキン、NPO法人設立準備中

- ・本日の実行委員会でも検討しましたが、ウッディチキンをNPO法人にするために、現在第1期の組織図を作ったり、申請資料を作成したりして準備中です。

4. ボランティア活動

- ・昨年度は全国のメンバーから約200万円の寄付金が集まり、NPO法人アジアチャイルドサポートに届けることができました。
- ・今年は前半の半年で80万円が集まり、送金しました。
- ・後半の分は、来月のウッディ沖縄例会の時に持参しようと思っています。
- ・我々の寄付金で多くの井戸が出来ているのを、池間さんの映像で見ることが出来ました。
- ・これからも協力、よろしく御願います。

< パネル・ディスカッション >

～北川八郎先生の教えをサロンに根付かせる～

(敬称を略して記載します。)

メンバー紹介

- | | | |
|-----------|-----------|--------------|
| ・コーディネイター | ラッセル | 統括MG大野勝次 |
| ・パネラー | ラッセル | 日向鈴子社長、安西利枝 |
| | MORI WAKI | 森脇嘉三社長、川越佐知子 |
| | バグジー | 久保華図八社長 |



北川先生の教えの活かし方

- ・大野
 - ・本日のパネルディスカッションでは、北川八郎先生の講演・教えをサロンにどう活かしているか、活かせばよいかについて話を聞いてみたいと思います。
- ・日向
 - ・「繁栄の法則」を全員で読んでそれを基本とし、勉強をし続けている。
 - ・今までは叱られたら言い訳ばかりだったが、勉強し出してからは、謝ることが出来るようになってきた。
- ・安西
 - ・本をバイブルとして、勉強をさせて貰っている。
- ・森脇
 - ・3年半から4年前に北川先生と出会った。その時は



売上が伸び悩んでいた時期だった。

- ・先生から、「売上は追いかけるものではない。スタッフを大切に考えること。」と言われてピンと来た。
- ・わずかな減少が続いたが、昨年くらいから少しずつ上向いてきた。
- ・いままでやってきたことが報われてきて良かったと思う。

・川越

- ・北川先生には「食」の話を中心に聞かせて頂いている。
- ・白米を玄米に替えたが、今は半々にして選べるようにしている。
- ・ジュース類はなくし、お茶・お水にしている。
- ・瞑想して、病気のスタッフに向けて全員で気のパワーを送ることをしている。
- ・先生から、楽にするには緑のイメージですと良いと教わったので、ヘッドマッサージではその様に気を入れてしていると、「肩が熱くなってきた」と言われた。そんなことを実感している。



・久保

- ・以前、タバコは1日80本吸っていた。
- ・先生に、「止めた方がいいよ。久保さんのところには、滑走路が出来ている。タバコを吸っているとそこに降りて来にくいから。」って言われて止めた。
- ・タバコの臭いはお客様にとっては少しでも嫌なもの。それで、バグジーは全面禁煙にした。
- ・そのために禁煙手当を出している。

・安西

- ・今はスタイリストになっているが、当時1年生だった男子が書いた「繁栄の法則の感想文」を披露。

・大野

- ・先生の話聞いて、失敗に学ぶことが出来た。自分と向き合うことが出来るようになった。方向性を教えて下さる。
- ・モリワキでは、講習に行くと逆に元気を頂ける。

・森脇

- ・先生に、「分かりやすい理念にした方がいいよ」と言われて、当社の理念は「優しい会社を作りましょう。一人ひとりを大切に！」ということにしている。
- ・利より信、人のためになどを理念の中に入れていく。



・川越

- ・ボランティアは、心を磨く一環として、定期的に3ヶ所回っている。
- ・弱いものを大切にすると心が育成される。
- ・メールで良い話を集めて、皆と共有している。

・大野

- ・断食をされている。断食の本も出されている。
- ・先日、伊藤先生も11日間の断食をされた。
- ・断食の間には、「目的を持たないこと。左手を多く使うこと。」など、普段とは違う方法を勧められる。
- ・ラッセルのスタッフは未だ未経験なので3日間の断食に挑戦する。



・久保

- ・順調な時には尊敬する人は要らないが、不調な時には必要である。
- ・謙虚になること。
- ・先生から「拍手は神様の金づちである」と言われる。
- ・自分は以前、良い車、良い服で自慢ばかりしていた。
- ・先生から「中身がないから飾らないと駄目なのね」と言われた。
- ・勝ち続けることはダメとも言われた。
- ・勇気を頂ける。
- ・闇 闇 闇 光 光 闇 光 光 に行ける人の中では、闇 光 に向かうことが出来る人が一番素晴らしい。
- ・自分の子供が腎臓の病気で山の水を飲まなさいと言われた。
- ・明るい人は成功する。
- ・M、元総理大臣のネタ話。
- ・森さんは英語は全然出来なくて、側近に「ハワユー」(ご機嫌いかがですか?)と「ミーツー」(私も)とだけ言いなさいと教えられていた。
- ・そして森さんはクリントンと接見する場面になって、緊張で「フーアーユー」(あなたは誰ですか?)と言ってしまった。



- ・クリントンはおやっと思ったが「ヒラリーズハズバンド」(ヒラリーの夫です)と答えた。
- ・森さんはすかさず「ミーツー」(私も)と言った。笑いは大切。
- ・大野
 - ・お知らせです。
 - ・今月の16～22日の間、池袋の三越で陶芸作品の販売会があります。良かったらお出かけ下さい。
 - ・会場の皆さん、本日のディスカッションは参考になったでしょうか？
 - ・パネラーの皆さん、会場の皆様、今日はありがとうございました。

< 久保先生より >

1. 失客の原因

- ・失客する原因は、お客様の満足を超えていないから。
 - ・不満 = 失客
 - ・満足 = 来店頻度 = マンネリ失客
 - ・モチベーションアップ・本気 = 大満足 = 定・リピート
- ・スタッフの意識を高め、期待を上回るおもてなしを行いましょ。

2. 北川先生紹介

- ・私の師匠の北川八郎先生を紹介します。



< 北川八郎先生・講演 >

1. 美容師さん

- ・美容師さんの食生活は貧しい人が多い。
- ・それで、体調不良、アトピーの人が多い。

2. 生き方

- ・生きている意味を考えて行く様にする。
- ・理想的生き方こそ、目指すべきものではないか。
- ・目覚めて欲しい。
- ・自分の家にはメス犬がいるが、優しくすると言う事を聞いてくれる。

3. 食/健康について

- ・肉・脂物を食べない。
- ・粗食が良い。
- ・栄養 × 寿命 = 1 (美味しいものを多く食べると寿命が縮む)
- ・平凡が一番。
- ・インディアンは草食なので、ハゲがない。
- ・中国は、ブタ肉・鶏肉なんでも食べるので、ハゲが多い。
- ・結婚しない人が増えている。
- ・女性は子宮筋腫など、悪い人が多くなっている。
- ・健康な子供を生めない女性が多い。
- ・今後は、10人中3名くらいしか子供を生めないことになりそう。
- ・そしたら、人口が激減してくる。
- ・草食動物は群れをなす。子供を何頭も生む。
- ・肉食動物は群れをなさない。子供を多く生まない。
- ・菜食の地域の人々の人口は増えているが、肉食系の国は減っている。
- ・仕事と食事は同じレベルである。
- ・泡立つものは洗い過ぎる。
- ・ソーダ、ビールなどは、胃腸を傷める。

4. 生き方

- ・好きな人から言われたら何でもきく。
- ・まず、人に好かれること。
- ・ハウツーではなく、心を大切に。
- ・人に対して、好意をたくさん持つこと。



- ・スタッフを好きになれない人は、美容室のオーナーになれない。
- ・そうでないとお客様を失客する。
- ・「許す」「受け入れる」をすること。「怒り」「不安」を無くすこと。
- ・まず自分の心のあり方を確立すること。
- ・この人生で嫌いな人を無くしていくこと。
- ・それを目指せば、安らぎ、穏やかになれる。
- ・「人は笑顔に集まり、怒りに散り行く」
- ・そうすれば、居心地がよくなる。
- ・成果主義より成長を見ること。
- ・お金、物、地位を目指す人は、それを持てばそれを失うことが恐くなってくる。
- ・久保氏に、金の金づちをあげた。
- ・「席は、上座・下座に囚われず、空いた席に座ろう」
- ・これは威張らないという大事な意味が込められている。
- ・全てを楽しめること。
- ・自分の出来ることを最大限にやっていく。
- ・運の大河は、不思議な流れとして人生の天気図になり、絶妙なタイミングでやってくる。
- ・今出来ることを一所懸命することにより、それはやってくる。



5 . 環境について

- ・食物は、狂った時代になっている。
- ・自然環境が激変している。土砂崩れなど多い。
- ・人間、寒い方は生きていけるが、暑いのは生きていけない。
- ・人口が減少している。
- ・安らぎを得られるサロンしか残れない。
- ・見た目の良さはすぐ忘れてしまう。飽きられてしまう。
- ・心のレベルを上げていくこと。
- ・兵庫県西宮市甲陽園に「ツマガリ」というケーキ屋さんがある。
- ・ここは、質を尊び、量を次とする。店は小さく、名は大きく。
- ・運命力は、良い考えという心の力によって高められる。
- ・良きハートとは、怒らない、優しいなど。
- ・良き心、考え、優しい心のサロンを作って行ってもらいたい。



ありがとうございました。

本年度の定例会日程

- ・11月7日(水)・・・沖縄(本年度・最終です)

～～ 懇親会の写真です ～～



もっともっと、ソウルメイトの絆を深めていきましょう！